



ひんやり氷に触ってみたよ！

R8. 7. 28(火)

ちゅういっぶ組

スライム遊びに引き続き、氷に触れ、感触遊びを楽しみました。今回は大きい氷と小さい氷を用意してみました。「つめたーい！」と言いながらも、その冷たさに気持ちよさそうでした♪大きい氷を持ってみようと思いますが「ツルツルする～」となかなか持てない様子の子どもたち。持とうとして力を入れると氷が子どもたちの手から逃げて、飛んでいくこともありました。爪で引っ掛けたり下から抱えてみたり試行錯誤しながら、大きな氷を持つことができました！小さい氷は軽々持つことができたので、保育者に「触ってみて～」と持ってきてくれました♡



冷たいけど持てたよ！

氷を持って観察するAちゃん。氷の白くなっているところや細かい泡のように見えて、「キラキラしてる～」と表現していました。



小さい氷を握りしめ「どっちの手に持っている？」とクイズをしていました！キューっと握っているの、だんだん氷が小さくなっていました。「小さいね」と大きさの変化にも気付いていましたよ。



(正解は・・・)

こっちじゃないでーす！



虫メガネを使って観察もしました！虫メガネを覗いてトゲトゲしている部分をじーっと見つめていました。



氷を持って手洗い場に行くNちゃん。氷を水にめらしてゴシゴシ洗うくさをします。そしてペーパータオルで拭いてみる姿が見られました。濡れた氷の表面を拭こうとしたのかな？



氷が解けて「水になってる」と変化に気付いたKくん。顔に水をつけたり、保育者と水を掛け合ったりダイナミックに遊んでいました。

氷の積み木できるかな？



氷に触れ、冷たさを味わったり、氷から水になることに気付いたりすることができました。子どもたちの発言や氷での遊び方など、面白い発見が多くありました。一つ一つ拾い集め、発見や気づきを大切にしたいです。暑い日も続くので、ひんやり様々な感触遊びをしていきたいです！